

付け加えることができる価値は何か？

～ 日系移民が暮らすホノルル ～

8

千葉 晃央

「〇〇人お断り」でいいのか？！

ハワイ日本文化センターを訪問した。現地に行く前から、同団体の YOUTUBE も視聴し、現地で活動に触れたいと思ったのが動機である。昨今、選挙において「〇〇ファースト」という言い方が当たり前に使われている。1970 年代に生まれ、50 代になった私が生きてきた人生において、初めての言い方である。

子ども時代に出会った教師の方々は、絶対こういう言い方をしない人達だった。こういう言い方の時代に、絶対に！戻してはいけない！という信念を子どもながらに感じてきた先生たちだった。古い写真で店先に「〇〇人、〇〇人、〇〇人はお断り」こんな張り紙があったのをよく見た。そんな頃には戻させない。そのためには、こういうことをみんなで話し合っていこうという授業や企画を複数享受してきた。それなのに、今こんなことが起こっているのは自分たちの努力不足な気がしてならない。

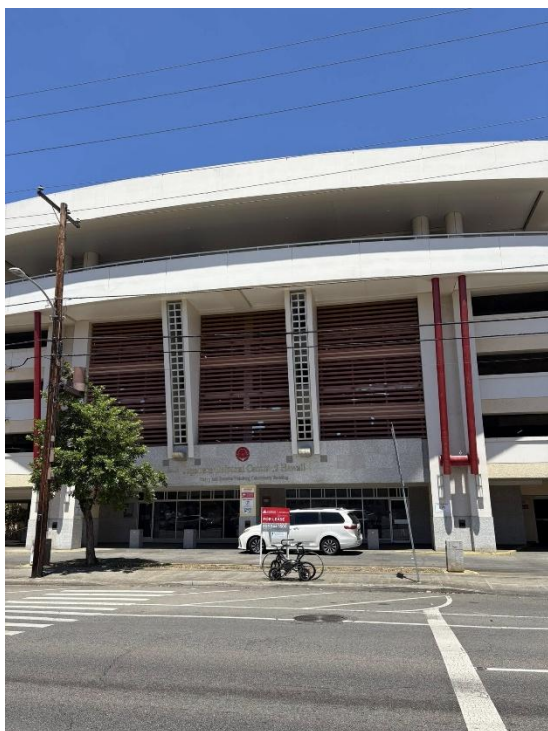
多くの日本人が今、日本で経験しているのは多数者側で、自国にいる側の立場である。だから「〇〇人ファースト」という言葉の危うさが「関心領域」には入ってきていないのではないか。しかし、日本人が移民する側になってきた歴史は複数あった。そして、日本人移民が異国で、どういう経験をしてきたかは調べたり、動いたりすれば、わかることもあるだろう。日本人が日本列島から出ていかななくてはならない状況が起こる可能性はゼロではない。そして、「歴史は韻を踏む」という言葉があるように、似たことは起こることはあるわけで、わかっていれば予防ができること、すべきことも明確になるはずだと考えた。

初めてきかれました…

「ハワイ日本文化センターに行きたい」というと「観光客はいかない」「初めてきかれた」と現地の方々も話す。そして、そこま

でのルートは普段ホノルルのツーリストが使う交通手段はない立地である。当然日系の方々が多い地域であり、そこには住民の暮らしがある。

ハワイに来てはじめに感じたことは、私の雰囲気似ている人が多いということである。ハワイ州はアジア人の割合が最も高い州である。50州で構成されるアメリカ合衆国で、1959年に50番目にできたのがハワイ州で、最も新しい州である。州になるた



めに住民による投票も行われ、圧倒的多数で賛成。当時の冷戦下ではこの民主的プロセスに価値がとてもあるとされた。

ハワイの主要産業は現在、軍需基地関連がトップで、次いで観光。少し空いて農業という。その観光地区(ワイキキ)は多くの旅行者も行く。しかし、今回のハワイ日本文化センターはそうした地区から離れている。ワイキキなどからも公共のバスしかない。ちなみに「スカイライン」というハワイにと



っての久々の鉄道は現在一部開通し、今後観光エリアまでの延伸を計画している。ハワイは車、バスがメインの移動手段で、基地方面の朝の交通集中も一定発生している。

結局、30分程度歩いてハワイ日本文化センターに行くことにした。道中は、アパートメントや一軒家、地元の方向けのレストラン、スーパー等もあり日常を感じる。川を覗けば透明で熱帯魚が泳ぎ、ごみも浮かぶ。公園ではホームレスの方の姿をよく見る。有名なショッピングセンターの前のパークも現在はテントが複数ある。家族も子どももいる。それらがホームレス状況という現状が報告されている。大型ショッピングモールのカートに荷物を載せて移動する姿もよく出会った。ハワイのインフレは特にひどく(安全保障上安定的で富豪の投機対象に不動産等になっているとも)、賃貸価格も月に日本円で約30万円台が平均とも。もちろん、被災も原因の1つになっている。また、温かいので他の州からワンウェイチケット

で送り込まれているという話もある。寒くないので冬でも凍死しないのが魅力といわれる。ハワイ州も抗議をするが状況は改善されず、ハワイ州もその州に送り返す策を…とも聞いた。そこに薬物、アルコールの問題も入り、治安の問題も存在している。そんな中を歩いて進む。



ハワイの物価上昇、被災の影響

観光地の歩道でも電動車いすを止めて、道行く人に大きな声で話かけている方、拡声器とマイクを使い、ラップ調で主張を訴えている方もいる。ハワイには高級住宅地、高級別荘地もあり世界的映画スター、某 O 谷選手もハワイに家を…ときく。

そうした地域とは異なるダウンタウンといわれるところを歩くとハワイ日本文化センターに到着。「おかげさまで」と題された日本からの移民の歴史の資料や展示、映像があった。お会いした方の中に、おひとり、京都の大学に留学経験がある方と話す。「ぜひゆっくり見て欲しい」とのことであった。



明治新政府の事業としての移民

日系移民は明治元年から始まる。山口、広島からの移民が多く、ハワイの労働力不足を補うことが目的で、明治新政府による事業でもある（なので長州藩が多いそう）。他にも中国、フィリピン等からも移民があった。過去にはハワイの人口の40%以上が日系のことも一時期あった。そのため、おにぎりも、かき氷（シェイプアイス）も、スパム結びも、お寺も、神社もある。

移民後の環境は厳しく、はじめは奴隷のようなものだったと振り返っている。そのため、地位の向上のためにストライキも。当時、明治新政府で王政復古の時代、移民たちは部屋に天皇陛下の肖像も飾っていた。そして、自分たちのルーツである日本の文化を大切にしてきた。日本でも外国籍の方々が自分たちのルーツの文化を大切にしながらも日本に適応もしていくことがある。ハワイの日本人はアメリカにも適応していくことが求められた。

その中で自分たちの社会的地位も改善し



ながら、暮らしも継続できるよう交渉し、懸命に働き、何とか共に暮らしていく。

ハワイ日本文化センターの展示の入り口には日系移民が持っていた日本人の価値観が一つずつ石柱に掘られて並べられていた。

1. 犠牲
2. 名誉
3. 恥と誇り
4. 責任
5. 忠義
6. 感謝
7. 仕方がない
8. 頑張り
9. 我慢
10. 恩
11. 孝行

これらを見るといかにも日本人らしい。日系の方の話を聞くとこうした価値で生き延びてきて、こうした価値の大切さを自負

している様子が感じられる。

2025 年の日本人も表面化しているか、していないかはあっても、世界的に見れば先述の価値をもって行動している傾向はあるだろう。

1868～1941 年入植から 73 年後

1941 年、日本軍による真珠湾攻撃。日系移民は「忠誠心」が問われる状況となった。日本的なもの、例えば天皇陛下のもの、着物などを処分する人も多かった。まずは有識者から、強制収容所に送られた。こうした状況を改善し、日本人のアメリカへの忠誠を証明するために、多くの若者がアメリカ軍に志願した。日系人部隊も作られて、実際に各地で戦禍を挙げた。当然多くの犠牲もあった。活躍から勲章ももらう軍人もいて、それが戦後の日系人の立場の確立に寄与した事実もある。

日本からの移民は 1868 年からである。アメリカはハワイ併合を 1898 年に行った。太平洋地域戦略の要として真珠湾を重視して 1908 年に基地がおかれた。

振り返ると、日本人が入植当時ハワイはアメリカではなかった。途中からアメリカになった。そして基地も置かれた。もちろん、責めてきた母国も憎い。基地を置いた方が…、という声も漏れ聞こえたそうである。入植 73 年後に起こったのが真珠湾攻撃であった。

ホノルル空港ではなく「井上」空港

日系人のダニエル・イノウエはホノルル空港の正式名称になっている。彼は戦地で捨て身で活躍。その戦闘の中で右腕も失う。戦争後は、日系アメリカ人として初めて米国下院議員、そして日系アメリカ人として初めて米国上院議員を務める。ハワイの発展、そして日系人の活躍も支える。2013年には、アメリカ海軍の駆逐艦の艦名に、大統領からも勲章を贈られる。2017年にはホノルル国際空港の正式名称が「ダニエル・K・イノウエ国際空港」になった。ハワイ州の知事にも日系移民ルーツにもつ方が複数就任している。



ハワイ日本文化センターには日系の方々の写真が掲示されていた。一世の顔写真複数。二世の顔写真複数と4世までの写真が掲示されていた。ハワイはニューヨーク同様、「人種のるつぼ」ともいわれる。出会いは当然、ルーツを超える。そのため、日本人のいわゆる外見的特徴は薄くなっていく。この4世代の変化と同様の資料を見たことがある。オーストラリアのアボリジニの方々に対する白豪政策で特徴をなくすイギリスによる例としてみたことがある。

様々ハワイナイズ、アメリカナイズと適応は進む。それでも日系の方々に触れて感じたのは、先人の努力のお陰で今があるという気持ちは共通として根底に持っている姿である。今回ハワイ日本文化センターに「日系アメリカ人 ―ハワイの―」(岩波写真文庫 1955)を持って行き、プレゼントした。京都の古書店で買ったものである。資料として、保管されているかもしれないが、もし価値があるなら、どうぞ！とプレゼントをした。喜んでくださった。また古書店で同じものを私は探したいと思う。

付け加える価値は、自分たち日本人が過去に強く持っていた価値なのかもしれない。

